

ウイルス感染症拡大における教会活動の自粛基準

2020年11月5日

フェーズ	社会状況 各県の指示に従う	礼拝の形態	牧会上の注意事項
フェーズ0	制限解除時	通常の聖餐式	
フェーズ1 (注意喚起)	感染小康期～感染増加期 * 県の人口10万人あたり新規感染者0.6人未満。平均値は直近の日曜日から土曜日までの7日間平均値の小数点第二位以下四捨五入。 * 参考：兵庫県の基準（新規感染者数）1日当たり、直近1週間平均30人未満	限定された聖餐式 ・ インテイクション陪餐（ぶどう酒を付けたパンは最後に信徒に渡す） ・ 一種陪餐	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出席者の発熱、せきやくしゃみなどの体調管理 ・ 教会施設（礼拝堂・会館）の換気などの徹底 ・ 消毒液などの設置と実施の徹底 ・ 陪餐直前の消毒の実施と徹底 ・ 陪餐時はトングなどを使用し、非接触方法をとる ・ 茶話会昼食を含む集会等の延期または、中止 ・ ただし、熱中症予防のため個々に水分補給を促す ・ 聖歌やチャントを省略する ・ 礼拝中のマスク着用 ・ 隣席との間隔を1m以上あけて着席 ・ 礼拝時間を短縮（1時間以内）する ・ 献金箱を使用する ・ 出席者を制限する ・ 他教派、教会への礼拝出席の自粛
フェーズ2	感染拡大期以上 * 県の人口10万人あたり新規感染者0.6人以上。平均値は直近の日曜日から土曜日までの7日間平均値の小数点第二位以下四捨五入。 * 参考：兵庫県の基準（新規感染者数）1日当たり、直近1週間平均30人以上	陪餐しない礼拝 ・ 聖餐式前部 ・ み言葉の礼拝	
フェーズ3	緊急事態宣言対象地域 特定警戒都道府県	公開の礼拝の自粛 ・ 信徒は自宅で祈る ・ 教役者・家族のみで礼拝する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自宅にいる信徒への牧会的な配慮 ・ メールやリモート会議などを活用 ・ 信徒訪問はせず、電話やメールなどで定期的な安否確認

神戸教区新型コロナウイルス感染症対策室

* 礼拝は、消毒の徹底と三密を避け、感染防止を十分に注意して実施してください。

* 各教会の置かれている地域の状況が異なるため、兵庫県の基準は参考とし、各県の社会活動制限基準に従ってください。

* 各県で基準の無い場合は上記の兵庫県基準を準用してください。

* 礼拝を自粛する場合は、牧師が教会委員会と協議のうえ、教区主教に相談して決めてください。

* 詳細については、教区のガイドラインに従った礼拝を実施してください。